

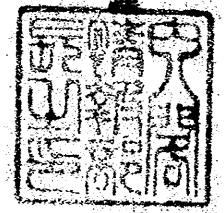
裏面白紙

内閣情報部庶第三一號

書記官

昭和十二年十月十九日

内閣情報部長 横 溝 光 暉



十月十九日 庶受一ニ第八七號

書記官

樞密院書記官長村上恭一殿

明治節奉祝及國民精神作興週間實施方ニ關スル件

明治節奉祝及國民精神作興週間實施方策ニヨル國民精神作興週間ノ實施ニ關シ
本年ハ國民精神總動員實施中ナルニヨリ此ノ趣旨ニ立脚シテ實施致度
本日關係協議ノ上別紙要綱決定相成候ニ付テハ實施方可然御座願相
煩度此段及御通知候

理事

- 秘書課 (堀田)
- 庶務課 (小笠)
- 會計課 (果木)
- 福地 (内山)
- 三浦 (表邊)
- 山下

明治節

一、趣旨

明治節ヲ壽ギ奉リ、明治天皇ノ聖德、御鴻業ヲ仰ギ、特ニ時局ニ鑑ミ日清、日露、難局ヲ回顧シテ御稜威ヲ欽仰シ、併セテ先人奉公ノ苦心ヲ偲ビ、愈々舉國一致、盡忠報國ノ精神ヲ體現シテ國民トシテノ報效、誠ヲ竭サシム

二、實施方法

(一)官廳、學校等ニアリテハ從來ノ舉式ノ例ニ依リ奉祝式又ハ祝賀式ヲ行フコト
從來式ヲ舉行セザル向ニアリテハ右ニ準ジ可成式ヲ舉行スルコト

(二)當日ハ午前九時ヲ期シ「國民奉祝ノ時間」ヲ設定シ、式ニ參列セザルモノハ夫々ノ場所ニ於テ全國一齊ニ宮城遙拜ヲ行フコト、

コノ爲同時刻ニハラヂオ、汽笛、サイレン、鐘等ニ依リ周知方法ヲ講ズルコト

(三)當日ハ適宜ノ方法ニ依リ明朗眞摯ナル氣分ヲ以テ明治節ヲ奉祝シ前項趣旨ノ達成ヲ圖ルニ努ムルコト

國民精神作興週間

一、趣旨

「國家興隆ノ本ハ國民精神ノ剛健ニ在リ」ト宣ヘル聖旨ヲ奉讀シ、國民精神作興ニ關スル詔書渙發ノ記念日タル十一月十日ヲ以テ始マル一週間ヲ國民精神作興週間トナシ、國民精神總動員ノ趣旨ニ立脚シテ之ヲ實施ス。

二、名稱

國民精神作興週間

三、實施要領

(イ) 國體ノ本義ヲ明ニシ、日本精神ノ體現ヲ期スルコト。
仍チ事變ニ關スル正シキ認識ヨリ出發シ古今東西ノ邦國盛衰ノ
因由、文化進展ノ跡ヲ究メ、日本ノ國力、世界ニ於ケル地位、
特ニ東亞ニ於ケル安定勢力トシテ、地位ヲ明ニシ、我が國ノ歴
史的使命ノ達成ヲ圖ル爲愈々國民精神ノ剛健ヲ期スルヲ本旨ト
ス。

(ロ) 國民精神作興ヲ日常生活ニ具現セシムル爲各般ノ實踐事項ノ實
踐ヲ強調シ、土地ノ狀況ニ依リ、對象タル人ノ如何ニ應ジ、國
民精神總動員實施ノ情況ニ即シテ適切ナル實施計畫ヲ樹立實行
スルコト。

四 實施方法

(一) 政 府

- (イ) 國民精神作興ニ關スル一般項目ノ決定。
- (ロ) 週報特輯號ノ發行。

(ハ) ポスター、パンフレット等資料ノ作製。

(ニ) 各省ニ於テ實施スベキ事項ノ決定。

(二) 國民精神總動員中央聯盟ニ於テ實施スルヲ適當トスル事項。

(イ) 主要都市ニ於テ講演會ヲ開催スルコト。

(ロ) 道府縣及各種團體主催ノ講演會ニ講師ヲ斡旋スルコト。

(ハ) 資料ノ作製配布。

(ニ) 其 他